

大淵第二小学校の編入に係る市の対応について

教育委員会の提案についていただいたご質問のうち、学校生活に係る質問についての対応をお伝えします。

① R3年度の追加交流事業について

編入時期まで、大淵第一小学校と大淵第二小学校が一緒に行事を行うなどの交流活動を積極的に実施していきます。R3年度7月時点では、デマンドタクシーを利用して、合計5回の交流活動を実施しました。

コロナ禍においては交流活動の実施は難しいですが、落ち着きを取り戻した段階で、児童たちが積極的な交流活動を実施できるよう、支援していきます。

② 合同行事（例：合同遠足、発表会等）について

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中ですが、落ち着きを取り戻した段階で、重点的に合同行事を実施していきます。特に、児童がかかわりあえるような行事において積極的に交流を実施する予定です。

③ 教育計画や学習内容のすり合わせについて

各学年で履修すべき内容は、国の定める学習指導要領で決められているうえ、市内の全学校で同じ教科書を採択しているため、すべての教科において、学習進度や学習内容について学校間の違いはありません。

また、学習方法や学校生活においても、小中一貫教育の視点から、大淵中学校区3校合同研修等において教育計画や学習指導方法を共有しております。学校生活上のルール等についても、編入後に児童が戸惑うことのないように、両校で事前に連絡調整します。

④ 学用品について

体操服など学用品は、現在使用しているものをそのまま使用できるようにしていきます。また、兄弟や姉妹で着回しすることも考え、編入してから卒業までは、どちらのものも着用できるように対応していきます。原則として、編入することを理由に新たに学用品を購入する必要はありません。

⑤ 編入後の不安や心配事を抱える児童に対する人的支援について

大淵第一小学校での学校生活が始まることで、新しい環境への不安や心配事を抱える児童が出てくることも考えられます。こうした児童の心的サポートについては、担任などと実施する教育相談に加え、養護教諭との教育相談やスクールカウンセラー（SC）との個人面談など、生徒や保護者が気軽に相談できるよう、相談体制を充実します。また、編入先となる大淵第一小学校には、教育委員会として各種サポート員を増員したり、スクールカウンセラーの勤務日を増やしたりすることを予定しています。

さらに、大淵第二小学校から大淵第一小学校へ、計画的な教職員の人事異動を行い、児童の不安に寄り添えるよう努めます。

⑥スクールバス等の試運行について

学区が広がることを考慮し、児童たちが学校から自宅まで安心して帰ることができるよう、下校時刻の見直しを図ります。また、大淵第二小学区に朝夕のスクールバスを運行することを検討しています。

なお、人数等の関係上、オンデマンドタクシーの利用もあり得ることから、現在、最適な方法を検討しているところです。

バスの乗降場所につきましては、大淵第二小学区に5～6カ所程度設けることを検討しています。

大淵第一小学校の発着場所は、大淵中学校北側駐車場を第一候補として検討しています。利用については事前申込制とし、気象警報等による登校時刻の変更等にも柔軟に対応できるよう検討を進めます。

実際に、スクールバス運行を試験的に行い、課題や要望を検討する予定です。

今後、バス会社等と乗降場所や運行時刻など具体的な協議を進め、児童たちの安全な登下校の確保に努めてまいります。

⑦児童クラブの希望調査について

大淵第二小学校の児童クラブは希望があればそのまま存続し、活用を希望する御家庭の意向に沿えるよう支援します。

⑧保護者の皆様への説明について

編入1年前の新学期スタートまでに、保護者総会等を開催して、編入について説明をいたします。また、児童たちにも、学校と協力し、教育委員会が説明します。

⑨跡地利用と施設の維持管理の検討

跡地利用については、市が一方向的に決めるのではなく、大淵地区のまちづくり協議会や、吉原富士本の二町内会の要望を踏まえ、地域活性化の一助となるような活用方法を検討していきます。また、その際には、体育館が避難所として指定されていることも考慮していきます。

ただし、編入してから使用方法を検討していくとなると、利用開始までに時間がかかり、施設の老朽化が進んでしまうため、編入についての検討と並行して跡地利用について検討を進めていきたいと考えております。